

授業科目名	経済学	担当教員	小峯 敦
必修の区分	選択		
単位数	1単位		
授業の方法	講義		
開講年次	1年 第2クォーター		
講義内容	<p>授業は講義形式を中心に、適宜、グループ討論をはさみます。私たちが生きる世界は、「経済的な価値」が圧倒しています。このような世界観はいつ・どのようにして形成されたのでしょうか？ 時間を数世紀もさかのぼり、空間を全世界にひろげ、大きな視野から、私たちの生きる世界を見つめ直します。地域観光は言うまでもなく、芸術文化にも「経済的なものの見方」は必須です。経済学の歴史をひもときながら、ともに考えていきましょう。</p>		
到達目標	<p>「経済学的思考とは何か」という問いに、自分なりに回答することを、この授業の究極的な目標とします。その題材として、今年度は「経済学の歴史・思想という観点」——古代から中世・近代に流れる経済と社会の関係；特にアダム・スミス以来250年以上に蓄積された知見——を取り上げます。この題材は、現代の経済社会を再評価する鍵となり、芸術文化や地域観光に関して、新たな価値創造につながる「きっかけ」「気づき」となるでしょう。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 経済の発見・・・古代から中世における経済の位置 2 特殊な近代の出現・・・民主主義と資本主義の発展 3 スミス以前の経済把握・・・商業の重視、農業の重視 4 経済学の生誕・・・アダム・スミスの利己心と共感 5 経済論争の時代・・・戦争とインフレ・関税 → (確認クイズ) 6 J.S. ミルの集大成・・・ジェンダー・協同組合・定常状態 7 社会主義の挑戦・・・マルクス、五カ年計画、冷戦、ポスト冷戦 8 ロマン主義と経済学・・・ラスキン、モリス、福田徳三 9 ケインズ革命・・・完全雇用から社会保障へ → (確認クイズ) 10 孤高の経済学者・・・シュンペーター、ハイエク、ガルブレイス 11 芸術文化と経済学・・・ロビンズ (英) とボーモル (米) の紹介 12 地域観光と経済学・・・RESAS (地域経済分析システム) を使おう 		
事前・事後学習	<p>事前の知識は不要です。二日目および三日目の授業中に、それまでの講義内容に関する確認クイズを実施します。</p>		
テキスト	<p>小峯敦 (2021) 『経済学史』 ミネルヴァ書房。授業中に必携。</p>		
参考文献	<p>小峯敦編 (2025) 『福祉の経済思想家たち (第三版)』 ナカニシヤ出版。</p>		

成績評価の基準	計2回の確認クイズ(およそ4割)、授業中のグループ討論(およそ2割)、単元ごとの質問・コメント(およそ4割)によって、総合的に評価します。
履修上の注意 履修要件	タブレットやノートパソコンを携帯すれば便利ですが、必須ではありません。上記のテキスト1冊は、授業中に常に参照できるようにしてください。
実践的教育	該当しない。
備考欄	履修者が定員を超過した場合、抽選を行う。 2021年～2024年度入学生：必修